



くれ

965号
2023年10月3日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

呉支部定期大会開催

第12回定期大会

9月29日(金)ビューポートくれで、第12回呉支部定期大会が開催された。リモートではなく、久々に会場を設けての開催である。

コロナ感染症が5類に変更されたが、職場では感染者は出ており、注意が必要である。

更に、コロナ感染症だけでなく、新型インフルエンザ感染症の感染拡大も懸念されている。

この様な状況でも、ユニオン労組は、労働者の働きやすい環境づくりの為に活



社員の意見

大会では、様々な意見が交わされた。

- ・ヤマトとの協業による人員配置不足の懸念
- ・土曜休配の検証
- ・夏期冬期休暇の削減
- ・物価高に対する賃金の在り方

意見の例として、このような内容であった。
人員配置について

2021年5月14日に発表したJP2025ビジョンでは、適正な人員配置により、約3万人相当の労働力減少が見込まれていた。

土曜休配や夏期冬期休暇削減も労働力削減に含まれていたのだろう。

また、ヤマトとの協業による配置不安は社員の関心を集めた。

なぜなら、ヤマトは2024年度末で、小型荷物等を配達する委託契約をした個人事業主3万人との契約終了を発表しているからだ。

3万人相当の業務量が配達業務に流れ込むが、会

社は郵便物の減少を理由に増員体制にする見込みを示しておらず、検討するに留めている。

物価高について

今月から、最低賃金が上がり、全国加重平均で、1004円、広島県は970円となる。

国税庁の令和4年度の民間給与実態統計調査では、給与の上昇が確認された。

その平均給与は、前年より、2.7%増の458万円である。

男性平均563万円、女性平均314万円。

しかし、厚生労働省が示す実質労働賃金は7月速報マイナス2.5%で、15カ月連続している。

これは、賃金上昇以上の物価高を示す。

さらに、今月から値上げするサービスや商品も多い。

10月1日から、ゆうパック料金も平均約10%値上である。

大きいサイズほど上がり幅が大きくなっている。また、公費支援縮小でコロナ治療薬も最大9千円の負担となる。値下げするサービスや商品もあるが、全体的には物価高が続いている事が統計からも分かる。

営業への注意喚起

来月11月1日から、令和6年度の年賀状販売が始まる。

日中の気温が30度近く上がる最中、年賀状販売の予約声掛けは、毎年の恒例であった。

しかし、営業に対する管理者の行き過ぎた指導が社員を追い詰めた。

営業数字に追い詰められた社員の一部は、自爆営業に走り、金券ショップやネットオークションに持ち込んだ。

年賀状として利用発送された葉書と、購入された年賀状との乖離が激しくなっていた。

管理者も例外ではない。自局の販売が悪ければ、年賀状を箱買いして数字を出した管理者さえいる。

一部の管理者は、そういった年賀葉書を普通切手や普通葉書に交換する1枚5円の手数料を惜しみ、書損扱いとして無料で交換した事が問題となり、会社から処分されたケースもある。

社員だけではなく、管理者も追い込まれていた異常とも言える営業至上主義の会社であった。

また、年賀状販売では、時間外営業や代金の立替

えも問題となっていた。

その当時、かんぽ不適合営業で会社の営業モラル欠落が明らかとなり、会社は方針を転換した。

しかし、営業方針や禁止事項を示しただけで、不適合営業は全て社員の責任とする無責任な内容である。

現在のかんぽ営業も同じである。

問題となった乗り換え営業を行えば、営業実績にならず、営業手当も支給されない。

しかし、お客様からの依頼であれば、手続きしなければならぬ。

時間とリスクだけを手続させた社員個人が背負う事になった。

営業再開しても、社員のモチベーションは上がっておらず、保有契約件数の減少が続いているが、当然の結果である。

今後の予定

- 10月10日(火) 17:00~
第1回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 10月17日 予定